

# メディアワールド

横浜市立小学校  
情報・視聴覚研究主任様

横浜市小学校教育研究会  
情報・視聴覚教育研究部会員様

平成26年度 4月号

【発行】

横浜市小学校教育研究会  
情報・視聴覚教育部会  
会長 渡邊 和也



## ICT が拓く子どもの学び～タブレット端末の活用～

武蔵大学社会学部メディア社会学科教授 中橋雄先生

4月23日(水)、今年度、最初の研究会を行いました。定期総会後に、武蔵大学の中橋先生をお迎えして、講演(「ICT が拓く子どもの学び～タブレット端末の活用～」)をしていただきました。現場での実証研究を中心にお話いただき、今後の ICT 環境について、様々なことを改めて考えるきっかけとなる講演会でした。

印象に残った言葉は「“タブレット”は子どもにとって世界にひらかれた窓」です。つまり、教室にいながら、自分の課題解決のため、より相手に分かりやすく伝えるために、すぐに世界と繋がる(自分の論の根拠となる資料など

を探せる)ことができ、さらに無限の方法で、アナログだけでは実現できない伝え方(色や太さ、レイアウトなど)を実現できるということです。学習指導要領でも、「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに～」とあります。タブレットはまさにこのような課題に対し、使い方次第でかなり有効的なツールになることが分かりました。また、中橋先生は、「タブレットを使ったからと言って、テストの点数は上がらない。でも、どうすれば相手により伝わるか、課題を解決していく思考力、判断力、表現力を身につけることができる。」ともおっしゃ

っていました。タブレットという便利なツールの機能に振り回されるのではなく、「何を学ばせたいのか。」「どんな力を身につけさせたいのか。」という学習の目的があつての『タブレット』だということ意識して使っていかなければなりません。

昔であれば異様だった光景も今では、自然なものになっています。(2005と2013のコンクラーベの写真)今後、ICTの力をさらに発揮していくために、本研究会でも、教育の目標・授業デザイン・教師の授業力という条件を整えていけるよう、研究を進めてまいります。

【次回予告】 5月7日(水) 15:30～

「タブレット端末を活用した学習スタイルの体験型学習」

～タブレット端末クライアントソフトの活用～

パイオニア株式会社の方にご協力いただき、タブレットを利用したグループワークを体験します。お持ちの方はタブレット端末をお持ちください。もちろんなくても構いません。詳しくは、研究会案内をご覧ください。



【編集】

紀要・広報委員会 武井 三也  
〈青葉区 鴨志田緑小学校〉